

令和7年度のテーマは「“内”と“外”の両輪でGo!」としたい。具体的な重点目標は以下の通りである。

○園内公開保育と園内対話の会の継続

園内公開保育は保育者の日頃の悩みや挑戦、成果を共有でき、同僚性を高める効果が大変大きいと感じている。これまでの保育をただ当たり前に踏襲するのではなく、目の前の子どもの様子や同僚からの意見などを元に試行錯誤を重ね、より良いと思う形に修正していける柔軟さを持ちつつ、楽しみながら進化していく機会として引き続き実施していければと考えている。また階層別に行う園内対話の会についても、園全体の状況がわかって連携がとりやすくなったり、複数人で問題点について考え工夫したりできるようになり、時間がない中でもやって良かったとの声が職員から上がった。内部のつながりの強化だけでなく、業務の負担軽減の効果も期待できると考えられるため、引き続き実施していきたい。

○「つどい」の見直しと外部への研究発表の形の模索

対話を重視した保育を進めたいと考える一方、集団の中でそれを実践することは容易ではない。特に幼児クラスではほぼ毎日「つどい」というクラス全体での対話の時間を設けているが、担当する保育者の中には「公平に話が聞いているのか」「限られた時間の中でどこまで子どもたちに寄り添い、どこで切り上げるべきなのか」などといった迷いや悩みが常にあり、担当者によってその質に差があるのではないかという懸念もある。そこで次年度1年間を通して「つどい」に焦点を当て、深めてみたい。

SONY の論文「科学する心を育てる」にもこれまで取り組んできたが、「科学する心」というテーマと、当園の目指す保育・教育との間に微妙な違いを感じており、研究の成果を発信する場がほかにないか考える時期にきているのではないかと考えている。ここ数年は幼児クラスに焦点を当てて研究や発表を行うことが続いていたが、乳児クラスでも日々学びや発見はたくさんある。また主体的で対話的な保育を展開する基礎には、乳児クラスでの積み重ねが必要不可欠であることから、担当年齢に関わらず子どもたちを見つめる保育者の視点を育む必要がある。そのため上記の「つどい」に対する保育者の迷いや悩みとも絡めながら、乳児期も含めた園全体での子どもの育ちについての研究を深め、何らかの形で発表し、外部の方からフィードバックをもらえる機会があればと思っている。

○たつの子独自の広報チームの設立

これまでのブランディングプロジェクトチームやリクルートチームでの取り組みをもとに、園内でも広報チームを設立し、広報戦略を展開したい。具体的には Instagram アカウントの設立・運営、ホームページの内容・デザインの見直し、リーフレット等の配布物のデザインの刷新等に取り組み、園の保育や子どもたち目線での環境のみならず、職員研修や職場環境にもフォーカスし、園のことを知らない第三者に魅力を伝えられるようなものを目指す。SNS の運営等の実務は事務担当者を中心としつつも、若い世代の職員からの声を積極的に取り込みながら、園外部に向けた広報活動が園内部のインナーブランディングの推進にも繋がるような形を模索したい。

○休暇取得の仕組みづくりの推進

昨年度から週休二日制が導入され、園内でも行事や職員配置等の見直しを重ね職員の働き方改革に積極的に取り組んできた。有給休暇の取得についても、できるだけ本人の希望通りに休めるよう配慮しているが、クラス単位で調整をして休暇の申請をするため、複数人の休暇が重なり人員配置に支障をきたしそうになる場面が何度かあった。また積極的に休暇の申請をする職員に取得率が偏っている現状もある。職員がなるべく平等に休暇を取れるよう、次年度は園全体で休暇取得の調整を行えるような仕組みづくりに取り組んでいきたい。その他働きやすい職場環境についても引き続き考え取り組んでいきたい。